

# 「やっぱり中止しかない」

高齢者医療制度の内容が明らかになる中で、高齢者に医療差別と負担を押しつける「制度」に区民の怒りと悲痛な声があがっています。

共産党正保健委員は本会議で「高齢者の怒りは、負担増だけでなく、人間としての存在が否定されたような扱いを受けることへの深い憤りです」とのべました。今、中止・撤回を求める意見書が全国の12議会、東京でも77・48議会で可決されています。

## 人間としての存在を否定！ 深い憤り

ある老人会の会長さんは「誰が後期高齢者なんて勝手に決めるんだ。俺はまだまだ元気いっぱいだ。あれはとんでもない制度だよ。早く死ねというようなものだ」。東砂福祉会館の説明会では「75歳を超えた私たちは、戦争の苦渋をなめてきた。ぎりぎりの線で生きている人間を足蹴にするもの」(要旨)。街頭署名で



春を告げる亀戸天神の梅 (亀戸3丁目・2月17日)

## 社会保障切り捨て・負担増から暮らし守れ

日本共産党畔上議員は、いま、区内で課税所得二百万円以下の人が12万人(55%)、中学生の就学援助家庭は就学生徒の37%、国民健康保険の滞納世帯が3万3千世帯(加入世帯の3分の1超)など、区民の深刻な格差と貧困の広がって

### 深刻な貧困と格差の広がり



怒りの宣伝・署名行動(西友前)

## 中止の世論広がる

年金組合のAさんは「私たちは、街頭宣伝・署名活動など保険料の軽減や制度の中止・撤回を求めてきました。今回、低所得者の保険料の軽減、70〜74歳の医療費を1割から2割にする案を1年先延ばしさせました。これは世論と運動の成果です。2年後には保険料

## 許せません 受診は我慢、医療は差別



江東区診療所 江吉 敬一 医師

4月から後期高齢者医療制度が始まります。75歳以上のすべての方と障害認定を受けている65歳以上の方が加入。保険料が所得に応じて年金から天引きされます。診療報酬が、「検査」「処置」「医学管理」などすべて合わせて定額6千円が原則。い



の見直しも予定されています。28日には4野党が共同でこの医療制度の導入そのものを撤回させる法案を提出しました。国民の怒りを

背景に、政府・与党も実施前から『凍結』を言わざるを得ない。中止に追い込むため大きく声を上げていきます」と語ります。

## オリンピック招致に税金投入やめよ

オリムピック招致、応援活動に区民の貴重な税金を千四百万円も使うのは無駄遣いと批判。都知事のオリンピック招致計画が明らかになるなかで、招致活動経費に百億円、メインスタジアム関連で四千七百億円を投入、夢の島競技場や辰巳国際プール周辺の緑をつぶして新たな競技場の

## 課題

「住み続けたいまち」江東区「区政世論調査の結果まとめ」「高い定住意向」87・5%の文字が踊る(「こうとう区報」11号)。区長はその理由に「下町の人情と思いやり」「臨海部の躍動感」をあげているが、本当にそうだろうか▼「生活環境評価」では大開発優先による大気汚染、街並破壊への区民の批判は強い。「空気のきれいさ」では51・0%が不満。「まちなみの美しさ」では40・6%が不満と答えている▼逆に満足では外部環境への評価は低い。満足は「今、住んでいる住宅」が33・6%。定住意向の最大の理由も「自分の家(土地)だから」が44・4%▼「環境が悪くても区民が住み続けなければならぬ理由がある。それは区民の54・7%が200万円以下の低所得者で、高いマンションやアパートには移れないからだ▼江東区を住みよい街にしたいと区民は願っている。区長は世論調査の結果からも、また生活環境からも、真摯に受け止めることが求められている。

# 平和・くらし風土記 (27)

## 生命を生みだす母親は 生命を育て生命を守る ことをのぞみます 江東母親連絡会

今年で54回をむかえる日本母親大会。55年、涙の大会といわれた第一回日本母親大会から、勤評・全国一斉学力テスト反対、小児マヒ生ワクチン輸入、保育所づくり運動など「母親が変われば社会が変わる」と戦後の女性運動の中心となって憲法・平和・民主主義、働く女性の権利を守ることに力を注いできました。

江東母親大会も日本母親大会、東京母親大会とのつながりを持ちながら、一緒になって江東の女性運動の一翼を担ってきました。

55～60年代は区内小学校を借りての大会開催、“ポストの数ほど保育所を。”など地域の住民運動を展開してきました。

75年以降数年のブランクはありましたが、1987年2月11日、4年ぶりに深川江戸資料館で米田佐代子さんをむかえての大会以降、毎年を積み重ねてきています。



月一回の定例江東母親連絡会には区職婦人部、教組女性部、新婦人、民商婦人部、土建主婦の会、退職教職員の会、年金者組合など各団体の代表が集まり、日本、東京、そして江東母親大会の成功のために顔を合わせ知恵をしぼっています。

江東大会ではこれまで全体会講師として、千田夏光さん、松田解子さん、中沢正夫さん、朴慶南さん、増田れい子さん、中村梧郎さん、品川正治さんなど著名な方々をむかえ、時代ときり結び講演をしていただき、例年200人前後の参加者を集めてきました。“生命を生みだす母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます。”を合い言葉に、これからも江東の母親運動を前進させていきます。

「だれもが自分らしく生き、働ける社会を」  
講演 古屋和雄 (NHKアナウンサー)  
95年阪神大震災の実況放送を担当した体験から「ボランティアの若者が被災者から感謝され、人々のために役立っていることを実感して働いている」と労働の社会的本質から説き起こした古屋さんは、3人の子育てパパとしてのエピソードで満場の聴衆を湧かせながら、効率と競争の新自由主義政策で環境、子育て、教育・

特に経済界の要請による労働法制改悪で非正規雇用が、年収200万円以下のワーキングプアを生みだし、格差をひろげていると指摘。戦争と貧困が同時進行しているアメリカの貧困者を餌にしたビジネスの本能にふれ、戦争放棄と生存権を保障する憲法をもつ日本の国の形とは相容れない、と90分の話結びました。  
200人の参加者はこの後、「教育」「子育て」「食育」「平和」の分科会に分かれていきました。



「平和・民主・革新の日」は陽気な「シャンゼリ―」  
直前の総会で選出された田村勤事務局長は、三つの共同目標にもとづく

文化行事は会場を跳ねめぐる獅子舞。上海から来日した劉暁冬さんの胸に滲みるような二胡演奏。  
「この灯を永遠に合唱団」

最後に新野好雄江東区労連議長が代表世話人として、江東の革新運動の伝統にふれ、国民の声を政治を動かす時代にふさわしい革新運動の前進を誓って閉会の挨拶としました。

2月17日パルシティ江東において、55年以來続く日本母親大会に連帯し、08年江東母親大会が開催されました。  
オープニングの土建主婦の会のレクダンス、保育士の南京玉すだれにつづく開会挨拶で、伊原事務局長は生命を育て、守

### 政治の春をよぶつどい

## 江東革新懇始動

寒風吹きすさぶ2月27日の夜、江東土建会館ホールに勇壮な太鼓が鳴り響き、08年江東革新懇新春のつどいは、会場に用意されたテーブルからもはみだす程の盛会でした。東ひろたか代表世話人の主催者挨拶に続いて、全国革新懇代表世話人の三上満さんが来賓挨拶。自民党政治の破綻が目を追って明らかになるもどで、同じ穴の貉の大連立勢力と対決する新しい政治の流れが、951票差の京都市長選で示されたように大きくなっている、今こそ革新懇の出番と強調しました。

本をめざす江東懇話会（江東革新懇）の新会則と38人の各界人士で構成した世話人・事務局体制で、40万区民に見える運動にとりくむ方針を報告しました。

交流の中では、都教組の大橋美枝子江東支部長の独唱で湧き、きかんし印刷労組や江東区民オンブスマンの新加盟や、斎藤信行幹事長による日本共産党区議団の紹介と決意表明がおこなわれました。

### 08年江東母親大会開催

3月の行事案内  
■8日(土) 13時30分 東京大空襲を語り継ぐつどい、カメリアホール、問い合わせ5857・5631  
■13日(木) 10時 江東重税反対区民集会、猿江公園  
■22日(土) 11時、15時、18時の3回上映、映画「奴隷工場」、上映実行委員会、カメリアホール  
■22日(土) 19時、江東青年学習講座、江東区産業会館2F  
■26日(水) 18時30分 マンションなんでも相談会、カメリアプラザ6F第3研修室



「NO・WAR」を合唱する皆さん



2008江東母親大会



著者 長谷川陽子さん

る母親として憂うべき現状の要因を見極める賢さが必要、と大会の意義を強調しました。  
講演に先立ち東陽在住の社会保険労務士で「年金ハンドブック」の著者、長谷川陽子さんが登壇、

終身保障の年金を守るために送達される年金特別便への対応の心得を訴えました。  
「だれもが自分らしく生き、働ける社会を」  
講演 古屋和雄 (NHKアナウンサー)  
95年阪神大震災の実況放送を担当した体験から「ボランティアの若者が被災者から感謝され、人々のために役立っていることを実感して働いている」と労働の社会的本質から説き起こした古屋さんは、3人の子育てパパとしてのエピソードで満場の聴衆を湧かせながら、効率と競争の新自由主義政策で環境、子育て、教育・